

No. 53

2024/10/1

香川県立三本松高等学校同窓会

## 大中三高会報



## 「虎北庭」の銘々石

学校創立80周年事業として1983年に完成した校庭は、前庭を「虎北庭」、中庭を「時習庭」と名付けられました。この名称は戦前に設置されていた寄宿舎「虎北寮」、「時習寮」に由来しています。当時の寄宿舎教育は「行学一如」の精神に則り、そこから多くの人材が輩出されました。作庭は造園家川原一圃氏、揮毫は同窓会顧問山本定次郎氏によるものです。銘々石は昭和58年度卒業生からの寄贈です。

## 目次

|                |       |                        |       |
|----------------|-------|------------------------|-------|
| ごあいさつ          | 2     | 三高生の特色ある学習             | 12    |
| 令和6年度理事会       | 3     | 三高生の主体的な活動             | 12～13 |
| 支部だより          | 4～6   | (香川県高校生献血ボランティアネットワーク) |       |
| 同窓生だより         | 6～8   | (三高みんなの食堂プロジェクト)(虎丸ゼミ) |       |
| 高校時代の思い出       | 8～9   | 三本松高校教育後援基金            | 14    |
| 叙勲、寄贈          | 10    | 部活動等の成績                | 14～15 |
| 本校独自の行事        | 10～11 | 令和5年度進路状況              | 15    |
| (虎丸登山)(南原ウォーク) |       | 事務局より                  | 16    |





## 同窓会の連携

会長 名 渕 薫  
(三高24回卒)

残暑の候、会員の皆様には日頃より同窓会活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今夏も日本は猛暑に見舞われ、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」とのグテーレス国連事務総長の発言も領けま

す。さて、アフターコロナから社会経済活動の正常化とともに、同窓会の理事会、懇親会も6月に盛会裡に終え、本会及び教育後援基金の事業も順調に推移しております。

一方、母校の大きな課題であります地域の生徒数の減少に対応すべく、地域になくてはならない存在として存続するような方策を、母校と東かがわ市、同教育委員会との包括連携に関する協定に期待しており、地域を含め同窓会がどのように関わり、支援していくかということを検討しているところであります。

東京などの都会への人口集中と地方における人口減少や、若者の流出は依然続いており、香川県においては4割以上の高校卒業生が県外に転出しており、岡山や四国の他の3県が3割台で推移していることから本県の大きな課題となっております。

今後県下の高校、同窓会の統廃合が予測される中、各校の同窓会活動を「ふるさと応援団のプラットフォーム」として維持していく必要があります。そのため、「香川県公立高等学校同窓会協議会」が令和4年4月に設立され、現在本会を含め県内15校の同窓会が加盟し、玉翠会(高松高校)が事務局となって本会も運営の一翼を担っております。

今後も協議会と情報共有をしながら、母校の支援に役立てるとともに、会員の皆様にはより一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。



## ご挨拶

校長 橋 本 和 之

大中三高会の皆様方におかれましては、日頃、本校の教育活動にご理解、ご協力、また、物心両面にわたり多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。あらためて深く感謝申し上げます。

昨年度厳しかった入学者数も、今年度は、全日制課程定員120名のところ、最終的に118名の入学生を迎えることができました。一方、定時制課程はニーズが高まっており、東かがわ・さぬき地域唯一の定時制課程を持つ本校に、12名の生徒が入学してくれました。今年度の全校生徒数は、全日制課程333名、定時制課程31名、合計364名となっております。

さて、少子化に伴う生徒数の減少が進む中、わが三本松高校では、生徒から選ばれる高校となるよう、また、生徒たちが将来幸せに活躍できる資質・能力を身につけられるよう、これまでの歴史と伝統を重んじながら新しい取組を実践するなど、特色化・魅力化を進めているところです。そのような中、今年度は、文科省が行う高等学校DX加速化推進事業に採択され、DXハイスクール推進校に指定されました。

また、全国からの生徒募集も行っております。他地域からの生徒が地元地域の生徒に刺激を与えてくれることにも期待しておりますので、募集活動等にもご協力いただけましたら幸いです。

このような特色化・魅力化を進めるにあたり、生徒の学びが充実したものとなるよう、「教育後援基金」を創設していただいていることは本当にありがたいことであり、学校だけでは難しいことも、大中三高会の皆様をはじめ、地域の方々のご支援によってより良い教育環境を整えることができます。

今後も引き続き、特色化・魅力化に努めてまいりますので、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



令和6年度

大中三高会理事会

日 時 令和6年6月8日(土) 15:00～17:00  
場 所 瀬戸内リゾートベッセルおおち  
出席者 63名

議題

1、令和5年度事業報告および会計報告について

<令和5年度 事業報告>

○行事

文化祭 9月9日 (一般公開)  
南原ウォーク 12月9日 (生徒会主催)  
大中三高会入会式 2月29日

○会報「第52号」3,000部 10月1日発行

○奨学金 17名に給付

○役員会

幹事会 5月10日、5月30日  
理事会 6月10日 (ベッセルおおち)

○支部

高松支部総会 10月14日 (高松国際ホテル)  
東京支部総会 10月21日 (主婦会館プラザエフ)  
関西支部総会 11月25日 (ニューオーサカホテル)

○卒業50周年記念寄付

三高25回卒有志 3月27日

令和5年度 大中三高会会計 収支決算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

【収入の部】 (単位:円)

| 費 目       | 決算額        | 摘 要                                  |
|-----------|------------|--------------------------------------|
| 1 入 会 金   | 1,140,000  |                                      |
| 2 会 員 会 費 | 2,261,121  | 950件<br>「会費2,467,281円 - 手数料206,160円」 |
| 3 雑 収 入   | 61         | 預金利息                                 |
| 当年度収入合計   | 3,401,182  |                                      |
| 前年度繰越金    | 7,206,874  | 令和4年度からの繰越                           |
| 合 計       | 10,608,056 |                                      |

【支出の部】 (単位:円)

| 費 目              | 決算額        | 摘 要                                                |
|------------------|------------|----------------------------------------------------|
| 1 会 議 費          | 55,582     | 会長副会長会、幹事会、理事会                                     |
| 2 旅 費            | 364,460    | 支部総会等出席旅費                                          |
| 3 慶 弔 費          | 75,000     | 支部祝金、慶弔金等                                          |
| 4 通 信 費          | 109,009    | 電話料金、郵便切手等                                         |
| 5 事 務 費          | 259,952    | 事務管理費、謝金、学校案内印刷代<br>事務用品購入、ドローン保険代                 |
| 6 行 事 費          | 220,390    | 創立記念餅代、卒業証書ファイル代<br>南原ウォーク経費、学生行事参加補助<br>学年同窓会事務経費 |
| 7 会 報 発 行 費      | 766,279    | 会報第52号印刷及び発送費                                      |
| 8 学 校 施 設 整 備 費  | 647,000    | 資料館展示一部変更工事、掃除機代<br>旧制大川中学校跡地植木剪定代                 |
| 9 育 英 事 業 費      | 650,000    | 奨学金                                                |
| 10 南 原 文 庫 充 実 費 | 199,418    | 図書の購入代 133冊                                        |
| 11 部 活 動 後 援 費   | 126,130    | 全国大会出場補助 (定時制柔道、フェン<br>シング部、三高みんなの食堂プロジェク<br>ト)    |
| 12 雑 費           | 10,275     | 「香川県公立高等学校同窓会協議会」<br>会費                            |
| 13 予 備 費         | 0          |                                                    |
| 当年度支出合計          | 3,483,495  |                                                    |
| 次年度繰越金           | 7,124,561  | 令和6年度へ繰越                                           |
| 合 計              | 10,608,056 |                                                    |

2、令和6年度事業計画および予算について

<令和6年度 事業計画>

○行事

文化祭 9月7日 (一般公開)  
南原ウォーク 12月7日  
大中三高会入会式 3月4日

○会報「第53号」3,000部 10月1日発行

○奨学金 12月中旬

○役員会

幹事会 5月16日、3月下旬  
理事会 6月8日 (ベッセルおおち)

○支部

高松支部総会 6月22日 (高松国際ホテル)  
東京支部総会 10月19日 (主婦会館プラザエフ)  
関西支部総会 11月10日 (ホテルマイステイズ新大阪)

令和6年度 大中三高会会計予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

【収入の部】 (単位:円)

| 費 目       | 予算額        | 摘 要       |
|-----------|------------|-----------|
| 1 入 会 金   | 1,121,000  |           |
| 2 会 員 会 費 | 2,500,000  |           |
| 3 雑 収 入   | 439        | 預金利息      |
| 当年度収入合計   | 3,621,439  |           |
| 前年度繰越金    | 7,124,561  | 令和5年度から繰越 |
| 合 計       | 10,746,000 |           |

【支出の部】 (単位:円)

| 費 目              | 予算額        | 摘 要                                                |
|------------------|------------|----------------------------------------------------|
| 1 会 議 費          | 200,000    | 会議経費                                               |
| 2 旅 費            | 500,000    | 支部総会等出席旅費                                          |
| 3 慶 弔 費          | 200,000    | 支部祝金、慶弔金等                                          |
| 4 通 信 費          | 250,000    | 電話料金、郵便切手類等                                        |
| 5 事 務 費          | 600,000    | 事務管理費                                              |
| 6 行 事 費          | 500,000    | 創立記念餅代、卒業証書ファイル代<br>南原ウォーク経費、学生行事参加補助<br>学年同窓会事務経費 |
| 7 会 報 発 行 費      | 1,000,000  | 会報第53号印刷及び発送費                                      |
| 8 学 校 施 設 整 備 費  | 1,000,000  | 樹木等管理費、資料館維持管理費                                    |
| 9 育 英 事 業 費      | 1,000,000  | 奨学金                                                |
| 10 南 原 文 庫 充 実 費 | 200,000    | 図書の購入                                              |
| 11 部 活 動 後 援 費   | 500,000    | 全国大会出場補助、国際大会派遣補助                                  |
| 12 雑 費           | 50,000     |                                                    |
| 13 予 備 費         | 100,000    |                                                    |
| 当年度支出合計          | 6,100,000  |                                                    |
| 次年度繰越金           | 4,646,000  | 令和7年度へ繰越                                           |
| 合 計              | 10,746,000 |                                                    |

3、会則の改正について

別紙のとおり

4、役員の改選について

別紙のとおり

5、報告事項

○香川県立三本松高等学校教育後援基金について

14頁参照

○香川県公立高等学校同窓会協議会について



## 支 部 だ よ り

## 同窓会開催と甲子園球場

関西支部長 谷 口 廣 重  
(三高 25 回卒)

昨年は、新型コロナ感染の制限が解けて4年ぶりに「大中三高会関西支部」の同窓会（総会）を11月25日に新大阪のニューオーサカホテルで開催しました。

会には橋本校長、泉谷前校長、名淵会長、高松と東京支部長に来阪いただきました。

参加者は総勢61名、学生16名を含め19才～87才で三世代間の交流ができました。

会は上村東かがわ市長のビデオメッセージに始まり、橋本校長に三高の現状と将来について力強く語っていただきました。また、学生代表の亀井遼樹君が全国表彰を受けた「三高みんなの食堂プロジェクト」をプレゼンしました。

その後は同窓生同士が賑やかに歓談して、学生によるエールやふるさと特産品（手袋、うどん等）の抽選会が行われ、大いに楽しんで、記念すべき記憶に残る一日となりました。

甲子園球場では、20回マスターズ甲子園大会が11月に開催され、6年ぶりに関西支部から応援に駆けつけてエールを送り、野球部OB選手団と甲子園勝利の感動を再び味わいました。

本年は、関西支部同窓会を11月10日（日）にホテルマイステイズ新大阪で予定しています。



令和5年11月25日「ニューオーサカホテル」

関西支部のメールアドレスは  
daityu.sanko.kansai@gmail.com

## 東京支部の新たな出発

東京支部長 對 馬 秀 樹  
(三高 43 回卒)

昨年の東京支部総会にて役員の改選が行われ、この度東京支部長を拝命しました對馬秀樹と申します。どうぞよろしくお願いいたします。地元の香川県で過ごした時間よりも遥かに関東での生活が長くなりましたが、故郷への思いは薄れるどころか増すばかりです。今でも天気予報は関東と四国の両方に目が向きます。テレビで香川県のことが放送されていると誰か知り合いが映らないかと前のめりで観てしまいます。今は年2回の帰省を楽しみに生活していると言っても過言ではありません。私と同じように、いや私以上に「香川愛」「地元愛」「三高愛」に溢れた東京支部の方々と総会でお会いするのは、私にとって元旦に匹敵する程の特別な日となっております。約30年前に大学生としてこの東京支部総会に参加し、諸先輩方から「よく来てくれたな。ありがとう。」「毎年、飯食いに来るんだぞ。友達もたくさん連れておいで。」と優しく声をかけてもらったことを今でも鮮明に覚えています。学生を大切にする良き伝統を継承していけるように微力ながら尽力してまいります。

さて、このような思いとは裏腹に新型コロナウイルスの影響で令和元年の実施以来、4年振りの開催となり、どれだけ参加者が集まってくれるのか不安な中での船出となりました。前回の参加者が43名でありましたので、その人数を上回ることを目標に総会の周知を行ってきました。当日は前校長先生であります泉谷 敏郎様、高松支部長 軒原 正浩様、本部副会長 原彪様をご来賓に迎え、49名の参加者で東京支部総会を実施することができました。長いブランクを経て久しぶりの再会に会は盛り上がりを見せ、同じ熱量のまま二次会・三次会へと続いていきました。今年は10月19日（土）に東京支部



総会が開催されます。多くの方々が東京近郊に在住されておりますので、ぜひ本会への周知につきましてご協力をお願いできればと思います。



令和5年10月21日「主婦会館プラザエフ」

## 令和5年度・令和6年度高松支部総会

高松支部長 軒 原 正 浩  
(三高30回卒)

高松支部では第35回高松支部総会を令和5年10月14日(土)高松国際ホテルにおきまして、4年ぶりに開催いたしました。

当日は本部より名渕会長をはじめ役員の皆様、永峰東京支部長、谷口関西支部長、東かがわ市から上村市長、学校からは橋本校長のご来賓の出席を賜り、総勢52名のご参加をいただきました。

総会は岡田理事(三高61)の司会のもと物故会員に対する黙祷、校歌斉唱と続き、総会の議事も承認、可決され、スムーズに進行することが出来ました。

懇親会は名渕会長はじめ、ご来賓の皆様の挨拶と谷口関西支部長の乾杯でスタートし、フラメンコスタジオを経営されている茅田順子校友(三高42)とその生徒さんたちによるフラメンコで会場が大いに盛り上がりしました。最後に恒例のお楽しみ抽選会があり、永峰東京支部長の中締めのもと校歌を合唱して盛況のうちに閉会いたしました。

また、今年の6月22日(土)には第36回高松支部総会を昨年と同じく高松国際ホテルにおきまして開催をいたしました。

本部より名渕会長をはじめ役員の皆様、谷口関西支部長、上村東かがわ市長、学校からは橋本校長等のご来賓の出席を賜り、総勢51名のご参加をいただきました。

総会も昨年と同じような内容で、司会も2年目となった岡田理事の名司会のもと終始和やかに進行することが出来ました。

懇親会は名渕会長はじめ、ご来賓の皆様の挨拶と川北文雄本部顧問の乾杯で始まり、池田理事(三高22)率いる三木町空手道スポーツ少年団の子供たちによる演武があり、特に試合形式の組手においては、会場内が静まり返るほどの緊張感に包まれる中での演武でした。そのあと昨年に引き続き茅田順子校友とその生徒さんによるフラメンコの披露、お楽しみ抽選会、藤本副支部長(三高39)の中締めのもと岡田理事(三高21)と中村宣広校友(三高20)のリードで校歌・応援歌を合唱し、今年も同窓生の皆さんと楽しく親交を深めることが出来ました。

ご参加まことにありがとうございました。また来年も皆様と笑顔で再会できますこと、そして母校の校歌を合唱できますことを役員共々楽しみにしております。



令和6年6月22日「高松国際ホテル」



## 令和5年度県庁虎丸会総会 県庁虎丸会四年ぶりに開催

県庁虎丸会長 松 本 秀  
(三高34回卒)

令和6年1月26日、金曜日、高松市鍛冶屋町にある「ラ・ディベントーレ」というイタリアンレストランに、県庁虎丸会のメンバーが集まった。

県庁虎丸会総会は、コロナ禍で、令和2年度、3年度、4年度と開催できず、実に4年ぶりの開催となった。メンバーは、久しぶりの邂逅に、大変うれしそうな表情を見せた。

こうした雰囲気の中が始まった県庁虎丸会は、名渕大中三高会会長様、橋本三本松高校校長様の暖かい御祝辞により、華やかさを添えていただき、川北顧問様の乾杯の御挨拶では、我々に元気をいただいた。

今回の県庁虎丸会の特徴は、二つある。一つは、令和元年度以降入庁の職員が5名も参加したことである。コロナ禍で、入庁したものの虎丸会に参加できず、先輩職員や同輩職員と同じ高校出身であることも確認できなかった方々である。

果たして、彼らが先輩職員とどのような対応を示すのだろうか。私自身、数十年前の新規採用で先輩職員と初めてお会いした時、緊張で何を話したか分からないくらいであった。しかしながら、彼らは、現在の状況を的確に説明し、これまで何をやってきて、県庁においてどのように今後やっていきたいのかを堂々と述べた。

これには、私自身、深く感銘し、また、同時に県庁の明るい未来を感じた。

二つ目は、やはり、四年ぶりの開催であった



令和6年1月26日「ラ・ディベントーレ」

ので、この間のできことなどで、大いに話が盛り上がったことである。同じ高校の出身ということは、お互いに共通項を持って、様々な意見交換ができるものだと、改めて感じた。

こうして、久々の開催で、新たな発見や充実したものが得られたわけであるが、引き続き、県庁虎丸会を多いに盛り上げていきたいと思っているので、温かく見守っていただきたい。

## 第16回 旧職員のつどい

令和6年4月26日（金）の創立記念日に第16回目の「旧職員のつどい」を開催しました。23名の方が百周年記念館につどい、勤務していた頃を懐かしみ、和気あいあいと楽しい一時を過ごしました。

お昼は学食で、生徒と同じ定食を美味しくいただき、恒例の紅白餅をお土産に、来年の再会を約束し合いました。



## 同窓会だより

### 米寿記念同窓会を開催

桑 島 正 道  
(三高6回卒)

卒業以来、2年毎に開催している三高・第6回卒の同窓会、コロナ禍のために2回休んだものの、この度、6年目に地元三本松で「米寿記念同窓会」を開催した。

私たちの歳になると、6か年の間に、残念ながら天寿を全うする人が多くなることは止むを



得ないのだが、今回も新たに14名の仲間が鬼籍に入られた。

年齢には勝てず、「参加はしたいが足腰が・・・」「遠方への移動は自信が・・・」などの連絡も多く、参加者は15名であったが、山梨・京都・大阪・兵庫からの参加者もあり、久しぶりの再会にあつという間の時間が過ぎ、お互いにたくさんのエネルギーをいただいた。

木造校舎の思い出や、大雪の日に、五名から歩いて登校、2時間目の授業の途中に教室にこそっと入った時、数学の先生から「やまザルが、がんばってやって来たぞ・・・」などと褒められた？という話が出たり、振り込め詐欺の被害に遭いそうになったこと、現在も、相談役という大役を2つもこなしている猛者などなど、あつという間に、時が過ぎた。

今回は2年後、卒寿の年の秋に「同窓会」の卒業式を実施することにした。卒業式には特別のご来賓として、現役の校長先生や同窓会長等をご招待することも考えてみたい。

母校の存続・活躍等は卒業生である私たちの生きがいの一つでもある。今回同窓会を実施した日に、奇しくも一般入試競争率が新聞で発表されたものの、三高は定員120名に対して93名の志願者であることも話題となった。地区の少子化が影響しているのだが、閉校になるようなことだけはご勘弁願いたい。地域ぐるみで、ユニークな学科を設けるなど、全国から志願者が集まるような学校に変身する勇氣も必要ではないかとも。

余計なことを書いたかもしれないが、母校の行く末を案じない卒業生はいないだろう。時間は待ってくれない。伝統ある母校の発展を願う私たち老兵からの遺言でもある。



三高 第6回卒 米寿記念同窓会 令和6年2月16日「魚源」

## 三高第41回卒業生同窓会 (全クラス合同)

川 北 康 伸

(三高41回卒)

卒業30周年を記念して、2回目となる全クラス合同の同窓会を企画したのが今から4年前でした。

その後まもなくコロナウィルスが流行し、止む無く中止となってしまいましたが、この度4年遅れてようやく開催することができました。4年前には三本松ロイヤルホテルという100人以上が集まって会食できる場所がありましたが、今はもうありません。ということで、会場選びについては様々な意見が出てきました。交通アクセスや二次会のことを考えると高松のホテルでの開催、高松と東かがわ市の中間地点の三木町や志度での開催、やはり地元東かがわ市にこだわって公共施設での開催などなど。

結果的に、同窓会は皆久しぶりに会って話をしてほしいと思っている人が多いであろうということで、三本松小学校体育館での開催となりました。空調も食事ありませんが、問題なく快適に過ごすことができ、あつという間の二時間でした。

地元に残る同級生が実行委員会を構成し、各クラスから最低1名出いただくことで隅々まで行き届いた連絡網ができ、結果90名もの同級生にご参加いただきました。5名の恩師にもご出席いただき、思い出に残る楽しいひと時となりました。

大規模な同窓会を成功させていくことで、過疎化が進む町にある母校へのエールとなれば幸いです。我々卒業生は皆、三本松高校が大好きで誇りに思っていることを確認できた同窓会でした。



令和6年4月28日「旧三本松小学校体育館」



## 四半世紀ぶりの同窓会

### 大川東高校 2000 年卒業同窓会

青 木 竜 士

(大川東普 14 回卒)

令和5年12月28日、私のスマホに懐かしい友からのメッセージが届いた。「令和6年1月19日に、同窓会やるよ。ぜひ出席してね。」とのこと。大川東高校卒業から実に24年ぶりである。ほぼ四半世紀ぶりの同窓会じゃないか！とワクワク。さっそく、LINEの大川東高校同窓会グループに入る。そこには、すでに10数名の同級生がいた。メンバーを見ると懐かしい名前ばかり。良い時代だ。しかし、同窓会まであと約3週間しかない。全同級生は約100名。一人でも多くの人に同窓会の案内をしようということになった。

三本松高校の同窓会に連絡し、今年度から始まったという同窓会開催助成金制度を活用した。グループメンバーが手分けして少しずつ人数を増やし、最終的に住所しかわからない同級生にはハガキを送付した。結果的に出席の有無は別として約9割の同級生に同窓会の案内をすることができた。残りの1割はどうしても連絡先がわからず、次回同窓会の課題となる。同窓会当日は18名が参加した。卒業後、何度か会っている人もいたが、ほとんどが24年ぶりだった。学生時代の思い出話をしたり、お互いの近況を語り合ったりなど気づけば、あっという間に時間が過ぎた。楽しい時間は一瞬で終わり、それぞれの帰路についた。今後も定期的に同窓会を開催し、次回からはもう少し時間をかけて案内して、多くの同級生と再会したいと思う。



令和6年1月19日「かし」

## 高校時代の思い出

### 思い出は遙か遠く

藤 本 賢 司

(三高 26 回卒)

三高生の思い出は沢山あるが、一番は「通学」である。自宅が長尾町造田（さぬき市）にあり、国鉄造田駅から三本松まで汽車通学をした。毎朝7時15分造田発の列車には長尾方面からの三高生や津田高生が乗り込む。当時の客車は木製であったが、志度や高松方面からの友人が多く乗っていて座席に座る余地はなかった。挨拶もそこそこに、昨日のテレビの話や勉強のこと、恋愛のことなどを話した。津田駅で津田高生が下車するといきなり静かになった。三本松駅では引田方面から来る友人に挨拶し、学校に向かう。最短距離で行ける裏道をぞろぞろと歩き、三本松高校に到着する。

昭和47年に入学した私のクラスは40人の内、汽車通18人、バス通2人であった。2年生のある日、私は頭を剃り、下駄をはき、番傘を小脇に抱えて登校した。列車の中では女子から好奇の目で見られた。また、土曜日の帰りの汽車では売店で買った少年サンデーとマガジンを回し読みした。1冊の漫画に何人もが群がりワクワクしながら読む「男組」は最高でした。



昭和50年頃の三本松駅

清掃当番の無い日の下校は3時45分三本松発の上り便。駅までの細い路地を重いカバン（教科書、ノート、参考書、辞書が入っていた）を振り回しながら走った。これも楽しかった。列車の中はほっとした安心感と楽しい会話の中で



とても居心地の良いものであった。あまりに楽しい学校生活と通学であったので卒業文集には「3時45分の汽車で帰ろう」と書いた。

最近、通学列車に乗合わせることもある。車内は静かである。高校生はひたすら携帯電話を見たり両耳にイヤホンをして音楽を聴いたりしている。国鉄はJRになり、駅員はいなくなり、キオスクや駅舎もなくなった。汽車はいつの間にか電車と呼ばれようになった。寂しくもある。

## あの夏の思い出

滝 本 友 美  
(三高46回卒)

6月、断れない電話がかかってきた。「元気でやっしょんか。」高校3年間担任だったH先生からの懐かしい声、原稿依頼だった。先生と共に思い出す、31年前の高校2年の夏。

1993年8月14日、私は甲子園のアルプススタンドで、三高野球部を応援していた。学ランに赤いハチマキ。今では考えられないほど真っ黒に日焼けして汗だくで…。「生徒会長で応援団員」という珍しさもあってか取材のカメラが向けられ、どこか地に足ついていないふわふわした感覚のまま球場の迫力に圧倒されていた。正直、甲子園での試合内容はあまり覚えていない。ただ県大会を勝ち進む度に覚えた大きな感

動と感謝の気持ちがこみ上げて来て「このキラキラした時間がまだまだ続いて欲しい」と願っていたように思う。試合には敗れてしまったけれど、スタンドから選手に向けられた「よーやったぞ！ありがとう！」の声に涙が溢れた。かけがえのない時間をこれほど多くの人と共有できたことに心が震えた。

今でも高校野球が始まると胸が高鳴る。県営野球場のスタンドからの景色、応援団の仲間の顔、健闘を称え合うエール交換、みんなで歌った校歌…次々に夏の思い出が蘇る。

この年の文化祭、クラス展示で正門前に甲子園球場を再現した。球場内の看板や広告も手描きして細部までこだわって作ったが、看板に三本松商店街のお店を使用したことで学校から「待った」がかかった。「どうしてダメなんですか。地元の宣伝にもなるし、いいじゃないですか。」かなりの勢いで当時の教頭先生に直談判しに行った。この歳になれば学校が憂慮した事態も理解できる。だが、高校生の私は青くて、とにかく一生懸命だった。

今を生きる高校生には「今しかできないことに全力で熱くなれ！」と、声を大にして伝えたい。青臭い衝動、それがきっと将来を生きる原動力になるから。

H先生からお声をかけていただいたときは、しばし高校生に戻ることができた。感謝。あの頃の自分に負けないよう、今日も頑張ろう。



平成5年9月の文化祭



## ■叙勲・褒章

旭日双光章「中小企業振興功労」

友國 誠二（三高 23 回卒）

瑞宝小綬章「海上保安功労」

川西 剛伸（三高 22 回卒）

瑞宝小綬章「教育功労」

篠田啓治郎（元校長）

瑞宝双光章「教育功労」

竹田 具治（三高 21 回卒）

藍綬褒章「社会福祉功績」

網本 一美（引田 20 回卒）

正六位

池田 豊治（三高 4 回卒）

知事表彰「地方自治功労」

井上 弘志（三高 16 回卒）

知事表彰「中小企業振興功労」

林 周二（三高 31 回卒）

知事表彰「優秀技能功労」

野崎 幸三（三高 27 回卒）

香川県教育文化功労

泉谷 俊郎（前校長）、小坂眞智子（旧職員）

香川県教育功労

上枝美紀子（旧職員）、河原美由紀（旧職員）

宮武 隆志（旧職員）

## ■寄贈

池下美代子（三高 5 回卒）＝佐藤東子（ペンネーム）

歌集『白風』

短歌会誌『清風』 令和 5 年 9 月号～令和 6 年 8 月号

桑島 正道（三高 6 回卒）

自主出版『三発の魚雷』『ぶらり南米一人旅』

高橋 幸代（三高 6 回卒）

第 75 回全国高校野球選手権大会（平成 5 年 8 月）

記念品「ペナント、サイン入り皿、ネクタイピン」

高田 俊弘・故 麓 寿（三高 8 回卒）

書籍『笠置シズ子物語』

谷口 俊男（三高 16 回卒）

書籍『海事犯罪』『読書の雑誌・本』

松浦 治（三高 23 回卒）

書籍『失敗しないための ジェンダー表現』

『あなたと学ぶ ジェンダー平等』

『生きづらいあなたへ カウンセラーからの伝言』

『シェアライフ』『多拠点ライフ』『日本国憲法』

南原繁研究会

『政治と宗教—南原繁再考（その 1）』

## 卒業後 50 周年記念寄付の贈呈

令和 6 年 3 月 27 日、卒業後 50 周年を記念して三高 25 回卒業の有志の皆様から寄付金の贈呈がありました。

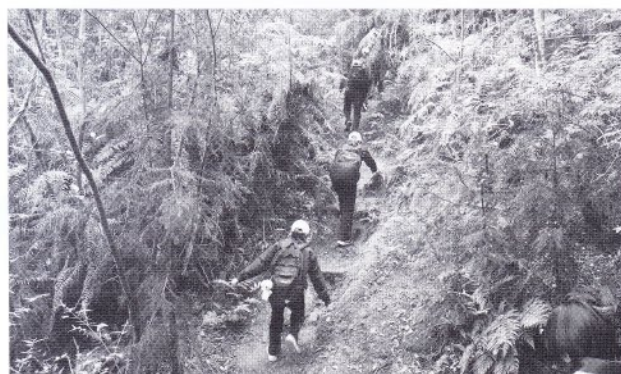
皆様からお寄せいただきましたご寄付「三本松高校教育後援基金へ 50 万円」と「大中大三高会へ 21 万円」は生徒の活動等に有意義に活用させていただきます。ありがとうございました。



## 本校独自の行事

### ■創立記念日（虎丸登山）

令和 6 年 4 月 26 日（金）の創立記念日、コロナ禍や雨天のため中断されていましたが、天候に恵まれ、3 年ぶりに虎丸登山が実施され、全学年が虎丸登山に挑みました。頂上手前の急勾配に悪戦苦闘しながら登りついた時、心地よい達成感でみたされました。





## ■南原ウォーク

### ●南原ウォークのはじまり

藤 井 俊 輔 (三高67回卒)

毎年12月頃に実施される南原ウォークは、今年度11回目の節目を迎えることとなる。筆者は平成26年(2014)に生徒会の2年生として第1回の運営に関わった。本稿では、10年前の記憶をたどりながら南原ウォークのはじまりについて記したい。

きっかけは、11月に生徒会で学校林を間伐しに行った帰路の「南原繁先生について皆が知ることができるような行事を生徒会で考えてほしい」という原校長先生のお話だったと記憶している。生徒会内にプロジェクトチームが作られ、南原先生が相生から徒歩で大川中学校に通ったことから、その足取りをたどるような企画とする案がまとまり、筆者はコース選定など具体的な部分を担当することになった。

コースは、現在の国道が敷かれる以前の旧道を中心に、南原先生の事績以外にも三高や東かがわ市の歴史を感じられる行程を意識した。三本松駅近くの大中校舎跡の碑を出発地とし、創設当初の大中が仮校舎とした勝覚寺や、戦国時代の引田合戦の歴史を伝える権平庵、讃州井筒屋敷などを経由して、相生小跡の南原先生像に至るルートとした。また、権平庵などいくつかの経由地で歴史解説を行った。休日にコースを確認しに行ったり、解説の原稿のため江戸時代の記録を調べたりしたことを覚えている。

そして12月29日、生徒会18名と顧問の草薙先生で第1回の南原ウォークを実施した。休憩を挟みつつ3時間程度で完歩。参加者へのアンケート結果を見ると、「余裕」1名、「ふつう」

9名、「つらい」5名、「かなりつらい」3名となっている。現代っ子の我々は南原青年の健脚ぶりに感服しきりであった。

近年、南原ウォークは100名以上が参加する一大行事になり、解説される経由地も増えていると聞く。これも歴代の生徒会による改善があつてこそだろう。12キロを歩くなかで先人たちのことを知り、仲間との交流を深める機会となるこの行事が、また次の10年へと歩みを続けていくことを祈りたい。

### ●第10回 南原ウォーク

(令和5年12月9日)

第10回目を迎えた南原ウォークは、80余名の参加のもと実施しました。9時過ぎに相生小学校跡地を出発し、途中、生徒会執行部による史跡などの説明を聞きながら、南原繁先生が通学した12kmの道のりを約3時間かけて歩きました。



相生小学校跡地から出発



御幸橋 (引田)



第1回南原ウォーク 正覚寺にて (平成26年12月29日)





## 三高生の特色ある学習と主体的な活動

### ■兵庫研修 (令和5年9月21日・22日)



1泊2日の日程で大型放射光施設 Spring-8などを訪問しました。施設内部を見学することができ、さまざまな分野の研究がなされ、産業への応用も盛んに行われていることを知り、改めて科学技術に対する関心を高めることができました。

### ■屋久島フィールド研修

(令和5年12月10日～14日)



屋久島では、植生や野生動物の調査を行いました。

世界自然遺産に登録されている屋久島の大自然に圧倒されました。

また、種子島ではテレビ中継でおなじみの大型ロケット発射場を目の前にし、貴重な経験となりました。

### ■海外語学研修

(令和6年7月11日～26日)



オーストラリア・ケアンズで約2週間の語学研修を行いました。語学学校では毎日授業を受け、オーストラリアに関することや、英語の文法等を学びました。

オーストラリアの文化や自然にも触れることができ、とても充実した2週間になりました。

### ■「香川県高校生献血ボランティアネットワーク」

香川県高校生献血ボランティアネットワークは令和3年1月に、「若年層の献血者数を増やすために同じ志を持つ仲間を増やし、活動の輪を広げる」という活動方針のもと、三本松高校を中心に立ち上げられた。この1年間の主だった活動を2点紹介する。

令和6年5月、イオンモール綾川で本ネットワーク主催の献血イベントを実施した。このイベントは三本松高校が企画校となり、手書きボードを用いた呼びかけ、オリジナルデザインの広告を入れたティッシュ配り、また献血に協力してくださった方々へ手書きメッセージが入ったプレゼントをお渡しするなど、献血推進活動を行った。イベント当日は香川県下の10校から51名の高校生が集まり、採血数55名と盛況のうちにイベントが終了した。

また、今年度も本活動を全国に広げるために高校生ボランティア・アワード2024にエントリーし、令和6年8月、見事全国大会の場での発表が叶った。「広げれ献血！～日本一小さな香川県から全国へ～」を合い言葉に、“高校生だからこそできること”を話し合いながらポスターを制作した。結果、特別賞としてボランティア・アワードの応援団でもある、ももいろクローバーZの高城れにさんから「高城れに賞」をいただくことができた。



オリジナルデザインの広告を入れたティッシュ



高校生ボランティア・アワード2024 特別賞受賞



## ■「三高みんなの食堂プロジェクト」

2年 池 田 佳奈美

このプロジェクトは、経営が難しかった学食を生徒の手で立て直したいという思いから始まったものです。授業でも部活動でもない完全な自主活動で「できるときに できることから自分たちの手で」というコンセプトのもと、それぞれの得意を活かして活動に励んでいます。全校生が参加者で、率先して名乗り出たリーダーを中心に9つのチームで活動していて、生徒だけでなく農業法人、地域の方など様々な人の協力のおかげで成り立っています。

メニューは日替わり定食のみ、前売りの食券制度にして食品ロス削減に貢献し、地元食材や規格外品も積極的に活用して地産地消の推進にも努めています。さび付いたゴミ箱を塗り替えるなど、生徒自身でやれば良いことを考え自主的に行動しています。自分たちの活動で周りが変わり、高校生でも多くのことができることを強く実感して、自信へと繋がりました。

今年は「学食から地域食堂へ」を1つのテーマとして、地域の方に学食を利用してもらうことやマルシェなどを通して交流を深めています。同窓会の皆様にもぜひ学食を利用していただきたく思います。(ご利用は登録制です)

また、アワードなどにも参加し、エシカル甲子園全国大会での「日本エシカル推進協議会会長賞」など様々な大会で賞を頂いています。この活動を通して、まずはやってみるチャレンジ精神が身につきました。そして、自分たちも地域の一員であるという一体感や、地域に深く関わろうという思いが更に強まりました。この学食からの活動をさらに発展させていきますので今後ともご支援をよろしくお願いします。



野菜作りに挑戦



「地域交流カフェ」中学生と一緒に企画・運営

## ■「虎丸ゼミ」

生徒が自主的に参加するゼミで、実施は放課後や休日。各分野で活躍する講師から双方向の話し合いの中で幅広い見方や考え方を自ら学ぶ取るもの。生徒は関心のあるテーマのゼミに自らの意志でエントリーして参加する。春休みに少人数で地域の事業所を訪問して仕事についての話をするゼミや地域の方との座談会に参加するゼミ、本校生徒が講師となるゼミなど多様な形態のものを実施している。



第50回 東かがわ市をどんなまちに(市長)



第62回 地域の人と座談会

### ※各回のテーマ(令和5年9月～令和6年7月)

- [47回] 新札の技術(国立印刷局)
- [48回] 教員という仕事について(県教委)
- [49回] 教育について考える対話会(市教育長)
- [50回] 東かがわ市をどんなまちに(市長)
- [51回] 簡単に脚力を測定(東讃保健事務所)
- [52回] 成年年齢が18歳に変更!
- [53回] 租税教室(長尾税務署)
- [54回] 被爆体験証言講話
- [55回] 終末期医療とは(本校3年生)
- [56回] 看護・臨床検査進学者の話(本校卒業生)
- [個別訪問型] まちのキャリアゼミ
  - ①中国銀行三本松支店 ②サングローブ
  - ③文遊館 ④味道源 ⑤東讃保健所
  - ⑥瀬戸内海放送 ⑦東かがわ市役所
- [57回] みんなの幸せな暮らし、福祉について考えよう(社協)
- [58回] 世界に広がる選択肢
- [59回] きまり・法律用語の読み方
- [60回] GAMEの仕事とは  
→〈オリジナルGAME作成中〉
- [61回] 石鹸づくり
- [62回] 地域の人と話そう(座談会への参加)
- [63回] フラワーアレンジメント
- [訪問型] さぬき市民病院



## 香川県立三本松高等学校 教育後援基金について

皆様からいただきましたご寄付等は、次のとおり使わせていただいております。

令和5年度 香川県立三本松高等学校教育後援基金会計 決算報告書  
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

| 【収入の部】      |             | (単位:円)                              |
|-------------|-------------|-------------------------------------|
| 科 目         | 決算額         | 摘 要                                 |
| 1 寄 付 金     | 752,575     |                                     |
| 一般 寄 付      | ( 252,575 ) | 寄付金、文化祭バザー収益金                       |
| 卒業50周年記念寄付  | ( 500,000 ) | 三高25回卒業生有志一同より                      |
| 2 活 動 支 援 金 | 60,000      |                                     |
| 3 雑 収 入     | 120,068     | 高等学校県外生徒就学支援事業補助金<br>(東かがわ市より)、預金利息 |
| 当年度収入合計     | 932,643     |                                     |
| 前年度繰越金      | 8,447,415   |                                     |
| 合 計         | 9,380,058   |                                     |

| 【支出の部】                  |             | (単位:円)                             |
|-------------------------|-------------|------------------------------------|
| 科 目                     | 決算額         | 摘 要                                |
| 1 特 別 活 動 費             | 310,373     | 「三高みんなの食堂プロジェクト」活動費<br>旅費          |
| 2 指 導 費                 | 493,490     |                                    |
| 部 活 動 指 導 費             | ( 50,370 )  | 部活動外部指導者指導料                        |
| 学 習 支 援 費               | ( 116,800 ) | 指導費、旅費                             |
| 活 動 支 援 費               | ( 326,320 ) | 「三高みんなの食堂プロジェクト」指導費<br>旅費          |
| 3 講 演 費                 | 38,168      | 「虎丸ゼミ」講師料(6名)、材料代                  |
| 4 事 務 費                 | 363,726     | 学校紹介ビデオ作成編集経費、事務用品<br>クリアファイル代、切手代 |
| 5 雑 費                   | 0           |                                    |
| 6 高等学校県外生徒<br>就学支援事業補助金 | 120,000     | 1名分                                |
| 7 予 備 費                 | 0           |                                    |
| 当年度支出合計                 | 1,325,757   |                                    |
| 次年度繰越金                  | 8,054,301   |                                    |
| 合 計                     | 9,380,058   |                                    |

## 部活動等の活動状況

### 令和5年度(10月～3月)

#### 県高校新人大会

##### 【弓道部】

女子団体 3位(数洞、松岡、小林、森、岡部、  
玉越、岡村)

女子個人 優勝 岡部小梅

##### 【柔道部】

女子個人 57kg級 3位 板坂百恵、槇井唯七

##### 【ソフトテニス部】

女子個人 ベスト16 黒羽さくら・池田羽愛 ペア

##### 【フェンシング部】

##### 男子学校対抗

フルーレ 2位(秋山、田中、大守、大山、  
後藤田)

サーブル 2位(大山、野崎、後藤田、田中)

エペ 3位(秋山、大守、河井、友國)

##### 女子学校対抗

フルーレ 3位(前川、朝田、中条)

サーブル 優勝(前川、朝田、中条)→四国大会出場

##### 女子個人

フルーレ 3位 前川寧夢→四国大会出場

サーブル 優勝 前川寧夢→四国大会出場

##### 【柔道部】全国高校柔道選手権県予選

女子個人 57kg級 3位 板坂百恵、槇井唯七

##### 【ソフトテニス部】県選抜インドア大会

女子個人 ベスト16 黒羽さくら・池田羽愛 ペア

##### 【フェンシング部】全国選抜四国予選会

##### 女子学校対抗

サーブル 2位(前川、朝田、中条)→全国選拔出場

##### 【科学部】ぎふ総文自然科学部門県代表者選考会

(生物) 寺嶋宥人、江本諒真「国内外来種アカ  
ハネオンブバッタの香川県における現状」

→全国高校総文祭出場

(化学) 笹尾芽来、和田花奏「金属イオンのカゼ  
イン凝集力と樹脂作製に与える影響」→全国高校総文祭出場

##### 【吹奏楽部】

##### 全国日本アンサンブルコンテスト(東讃・高松大会)

打楽器3重奏 銀賞(川田、三谷、西尾)

金管7重奏 金賞(楠原、坂東、富田、  
若本、橋本、池田、辻)

##### 全国アンサンブルコンテスト(県大会)

金管7重奏 銅賞(楠原、坂東、富田、  
若本、橋本、池田、辻)

##### 【三高みんなの食堂プロジェクト】

##### 第4回SDGsジャパンスカラシップ「岩佐賞」

##### エシカル甲子園2023

「日本エシカル推進協議会会長賞」

かがわ食品ロス削減大賞「優秀賞(たるる賞)」

ローカルSDGs四国表彰「ユース部門賞」

### 令和6年度(4月～8月)

##### 【柔道部】全日本ジュニア柔道体重別選手権県予選

女子個人 63kg級 3位 槇井唯七

##### 【ソフトテニス部】国スポ1次県選手選考会

女子個人 ベスト16 黒羽さくら・池田羽愛 ペア

##### 県高校総体

【陸上部】110mH 6位 大路創太→四国大会出場

##### 【弓道部】

女子団体 準優勝(松岡、中川、小林、玉越、  
岡部、竹本、山崎)→四国大会出場

女子個人 4位 岡部小梅→四国大会出場

##### 【柔道部】

男子個人 73kg級 ベスト8 寺嶋宥人

女子個人 63kg級 3位 槇井唯人

##### 【ソフトテニス部】

女子個人 ベスト16 黒羽さくら・池田羽愛 ペア

→四国大会出場



## 【フェンシング部】

## 男子学校対抗

フルーレ 2位 (秋山、田中、大山、大守)

→四国大会出場

## 男子個人

フルーレ 4位 秋山優人→四国大会出場

エペ 4位 大守孔明→四国大会出場

サーブル 3位 後藤田大翔→四国大会出場

## 女子学校対抗

フルーレ 2位 (前川、朝田、中条、溝渕)

→四国大会出場

## 女子個人

フルーレ 3位 前川寧夢→四国大会出場

サーブル 優勝 前川寧夢→四国大会・全国大会出場

〃 2位 中条珠緒→四国大会・全国大会出場

## 四国高校選手権大会

## 【弓道部】

女子団体 3位 (松岡、中川、山崎、玉越、  
岡部、小林、竹本)

女子個人 優勝 岡部小梅

## 【ソフトテニス部】

女子個人 ベスト32 黒羽さくら・池田羽愛 ペア

## 【フェンシング部】

## 男子学校対抗

フルーレ 2位 (秋山、田中、大山、大守)

## 男子個人

フルーレ ベスト8 秋山優人

エペ ベスト8 大守孔明

女子個人 サーブル 第3位 前川寧夢

## 【野球部】 全国高校野球選手権県大会

ベスト4 (辻、安芸、丸山、川崎、赤澤、田村、  
網本、高原、岩部、久常、児玉、佐々木、鎌池、  
大山、宮崎、比嘉、東、岡崎、忽那、三好)

## 【吹奏楽部】 全国日本吹奏楽コンクール県大会

A部門 銀賞

## 県高校定通総体

## 【柔道】

男子個人 90kg 超級

優勝 福永龍紫→全国大会出場

準優勝 王青輝

※団体男子に県の選抜メンバーとして上記2名全国大会出場

## 【バドミントン】

女子個人 大川愛美→全国大会出場

## 全国高校総体 (インターハイ)

## 【フェンシング部】

## 女子個人

サーブル 32位 前川寧夢

〃 32位 中条珠緒

## 【科学部】 県高校生科学研究発表会

(口頭発表)

優秀賞 (江本、大守、寺嶋、村尾)「国内外来種  
アカハネオンブバッタの生態と分布」

(ポスター発表)

優秀賞 (秋山、大松、藏前、入道)「東かがわ市  
の水生半翅目の分布調査」

(活動報告)

奨励賞「三本松高校科学部活動報告」

## 全国高校生ボランティア・アワード2024

(ブース発表)

## 【香川県高校生献血ボランティアネットワーク】

「特別賞 (ももいろクローバーZ 高城れに賞)」

(ポスター発表)

## 【三高みんなの食堂プロジェクト】

## 令和5年度 進路状況

(過年度卒業生を含む延べ合格者数)

## ○国公立大学 = 24

弘前大1 京都教育大1 奈良教育大1

岡山大1 徳島大3 鳴門教育大1 香川大5

愛媛大1 九州大1 大阪公立大1

島根県立大1 尾道市立大1 周南公立大1

下関市立大1 香川県立保健医療大2

高知工科大1 北九州市立大1

## ○私立大学 = 168

獨教医科大1 朝日大1 京都産業大7

立命館大4 龍谷大12 大阪経済大7

大阪工業大3 大阪商業大2 関西大3

関西外国語大1 近畿大17 桃山学院大1

関西学院大2 甲南大6 甲南女子大12

神戸学院大2 武庫川女子大3 岡山理科大16

就実大1 広島工業大1 四国大7

徳島文理大12 高松大2

松山大14 その他31

## ○短期大学 = 8

川崎医療短大2 徳島文理大短大部1

高松短大5

## ○専門学校・各種学校 = 25

鳴門病院附属看護専門1 穴吹コンピュータ1

穴吹動物看護3 穴吹ビューティ4

穴吹リハビリテーション1 香川県歯科医療専門4

キッス調理技術専門1 四国医療専門1

四国職業能力開発大学校1 その他8

## ○就職関係 = 4

帝國製薬株式会社 ばいこう堂株式会社

社会福祉法人はつき会 社会福祉法人弘善会



## 事務局からのお知らせ

### ◆「同窓会開催補助金制度」について

大中三高会の会員が開催する学年全体の同窓会に対して、開催費用の一部を補助する「同窓会開催補助金制度」(3万円)を創設しました。この制度は、会員が母校に思いを馳せる機会、また、会員間の親睦を深める機会としての学年同窓会の開催を助成するものです。

事前の申請・審査が必要です。開催をお考えの幹事の方は下記事務局へお問い合わせください。

### ◆会費納入について<年会費2,000円>



#### A コンビニで 振り込む

令和6年11月末までにお振込みください。その後は、郵便局でのお振込みとなります。



#### B 郵便局で 振り込む

※1

口座 01680-9-6242  
名義 大中三高会



#### C 銀行口座へ 振り込む

※2

口座 百十四銀行 三本松支店  
普通0756237  
名義 大中三高会 会長 名 淵 薫

三本松高校事務室での納入もできます。

※1 何年かまとめて納入希望の方は、郵便局にて、「2,000円×何年分」と通信欄に記入のうえ、お振込ください。

※2 銀行でのお振込みの場合は、振り込み後、大中三高会事務局へ「氏名・卒業年・現住所等」をご連絡ください。ご連絡ない場合は、会費納入一覧に振込名のまま掲載させていただきます。

### ◆会報の送付について

会報は、**会費納入者の方に納入後2年間および卒業後6年間**お送りさせていただきます。今後とも皆様から納入いただきました会費は有効に活用させていただきますので、会費の納入にご協力をお願いいたします。

なお、同窓会活動につきましては、三本松高校HPに掲載していますのでご覧ください。



大中三高会HPページ

### ◆住所等変更について 住所等の変更は、下記事務局までご連絡ください。

## 編集 後記

2023年に東かがわ市内で生まれた子どもの数は84名でした。彼らが高校受験をする15年後には三高が学校統廃合の対象校として議論されることが想定されます。青春時代の多くの思い出が残る母校が無くなるというだけでなく、市内の生徒が徒歩や自転車で通学できる高校、毎朝三本松駅から登校してくる生徒たちの活気、これらが消えてしまうことは何としても防ぎたいというのが多く同窓生の願いです。入学してくる生徒を増やし、三高を存続させるためには、生徒を引き付ける魅力あふれる学校になる必要があります。

そのために同窓生としてどのような支援ができるのか、みなさんで考えていかなければなりません。

同窓会報では、高校時代のエピソードや三高魅力化のための方策などの寄稿文を募集していますのでぜひお寄せください。



大中三高会報 No.53 / 2024年(令和6年)10月1日発行

香川県立三本松高等学校同窓会 大中三高会

〒769-2601 香川県東かがわ市三本松1500番地1

Tel&Fax 0879-24-1660 E-mail ashitanitakaku@gmail.com

